

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や手術の記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテ記録や手術記録を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究課題名】

皮膚付属器悪性腫瘍予後調査について

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院 形成外科

【研究責任者】 森 秀樹（形成外科 講師）

【研究代表者】 渡辺晋一（帝京大学皮膚科教授、日本皮膚悪性腫瘍学会皮膚付属器癌予後調査委員会 部会長）

### 【研究の目的】

現在日本では高齢化社会となり、平均寿命が延びるに伴って癌の発症率は増加しています。その中で皮膚がんも増加の一途を辿っていますが、他の臓器のがんと比べるとその数が少ないこともあり、その診断や治療がはっきり確立されていません。今回私たちは、皮膚がんの中でもさらに稀な皮膚付属器悪性腫瘍の患者さんのデータを全国から集積し、統一した診断基準によって正確な診断法の確立と各疾患の治療法や生命予後を調査することを目的としています。

### 【研究の方法】

検査あるいは治療のために切除された検体の病理組織標本、臨床写真や病歴について、担当医を通じて本調査のために使用させていただきます。情報は暗号化、電子媒体で事務局へ送付されます。

### 【共同研究について】

本疾患登録システムは、形成外科関連疾患の発生頻度・罹患率、全国における疾患の分布、年次推移などの情報の収集という側面に加えて、各疾患に対しどのような診療が実施されているのかを明らかにするため、全国の施設と共同で多数例を集計・解析することになります。

### 【個人情報の取り扱い】

本研究は「個人情報保護法」(平成17年4月1日施行)および「疫学研究に関する倫理指針」(文部科学省・厚生労働省 平成19年8月16日改正)を遵守しています。情報は本登録のため新規作成した「日本形成外科学会疾患登録アプリケーション」で入力・暗号化、復号・集計されますが、高度の暗号化機能を有し、犯罪的行為等で情報メディアが第三者の手に渡っても内容解読は不可能です。

また、姓名、生年月日などの個人情報は登録情報に含まれず、研究対象者である患者さんが不利益を被ることはありません。

### < 試料・情報の管理責任者 >

日本皮膚悪性腫瘍学会皮膚付属器癌予後調査委員会

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

### 【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 森 秀樹

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-096-5350